

緊急時連絡システム運用の分析結果に基づく 蔵書検索システムの構築

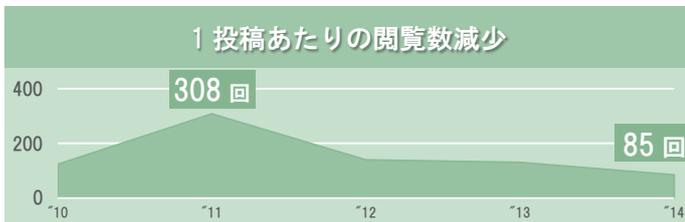
神戸高等学校自然科学研究会物理班 . . . (生徒名削除) . . .

緊急時連絡システムとは

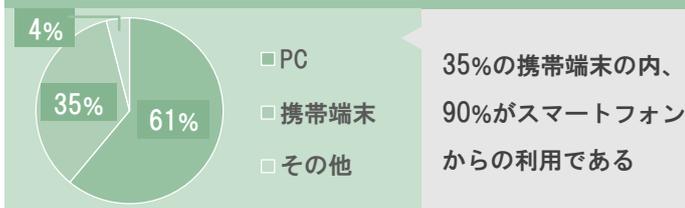
緊急時連絡システムとは、2010年度に先輩によって構築されたNucleus CMSというブログシステムを利用した連絡掲示板システムである。現在、緊急時（警報発令時など）の連絡のほか、時間割の確認や、教科・図書室からの連絡、蔵書情報が投稿され掲載されている。この研究はその開発研究である。

背景

2010年から継続している解析の結果



スマートフォン利用者割合増加



よって

- ① 平常時の利用者増加が緊急時に役立つために必要
- ② スマートフォンからの使いにくさの解消が必要

目的

- ① ②の問題点を解決すること

解決手段の検討

- ① のための手段

利用を促進する新たな価値を作り、利用者数を増加させ、固定利用者を確保する新たなサービス開発

- ② のための手段

スマートフォンから使いやすいUI（ユーザーインターフェイス）設計を実現する

検討の結果

- ・蔵書検索システム構築
- ・スマートフォン向けUIの実装

開発内容

蔵書検索システムの構築

図書室が作成する蔵書の電子データを利用して、約2万冊の蔵書情報を検索できるシステムを構築し既存の緊急時連絡システムの新機能として公開した。

スマートフォン向けUI設計

システムのUI設計を班員からの聞き取り調査を参考にしながら、スマートフォンからの利用を前提とした設計にした。これにより急増しているスマートフォンからの利用におけるUX（ユーザーエクスペリエンス）の向上を図った。



考察

蔵書検索システム分析の結果（13日間）

連絡掲示板に蔵書検索システムの公開を知らせる連絡を投稿すると同時に、連絡掲示板・蔵書検索システムの運用の分析を行った。

分析の結果、蔵書検索システムの公開を知らせた記事を投稿してから13日間で37人からの閲覧があり、内19人が実際に蔵書検索システムにアクセスした。

連絡掲示板への利用者数が以前に比べて少ないため、蔵書検索システムの公開を知らせた記事を多くの生徒に知らせることができなかったと考えている。

今後の課題

UX分析結果を元に緊急時連絡システム全体の統一的なUI設計を再考し、さらなる分析を続ける

蔵書検索システムはこちらから

(上から6番目、「蔵書検索システム」からアクセス)

(※ ここに掲載してあったQRコードとURLを削除)